

# ニュースの報道形態の定量的評価



リスク工学専攻博士前期課程1年

有田和晃 伊藤文也 尾羽秀晃 平木通紘

アドバイザー教員 遠藤靖典

# 研究背景

---

近年、様々な形態の報道が行われている

- 芸能人が出演

TBS:サンデージャポン(爆笑問題)

日本テレビ:NEWSZERO(櫻井翔)など

- 分かりやすいフリップの使用

- 効果音などによる演出

娯楽化(ソフト化)された報道形態の増加

(萩原2001)

# 研究背景

## ソフト化された報道形態の特徴

### ○長所

- 政治・経済に興味を持つきっかけになる  
(Baum&Jamison 2006)
- ニュースを身近に感じることができる

### ×短所

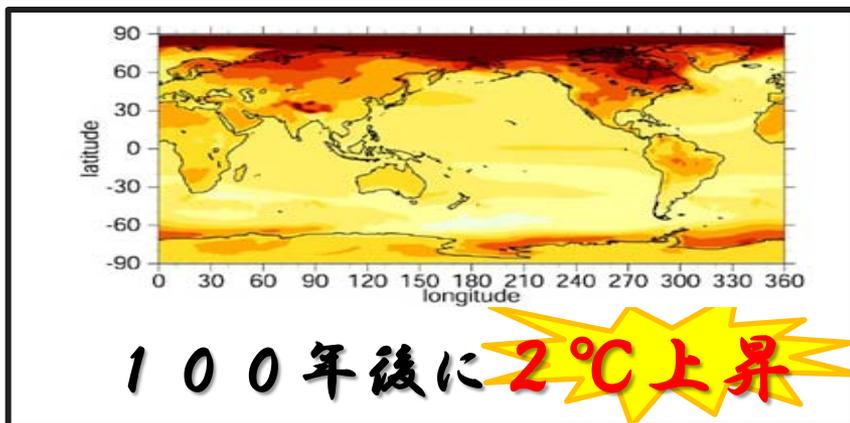
- 報道内容を鵜呑みにする危険性  
(萩原2001)
- 恣意的な報道を容易に受容する危険性

無意識のうちに情報操作を受け取る**リスク**

# 研究背景

同じ報道内容でも効果によって印象が異なる

固い印象



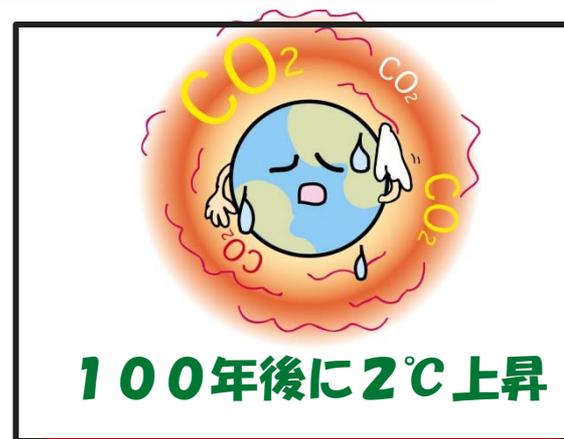
特集**温暖化**



平均気温が2°C  
上昇します

kuba

やわらかい印象



特集**温暖化**



平均気温が2°C  
上昇します

# 本研究の目的

ニュース報道のソフト化



報道番組のソフト度を評価するモデル構築

→ ソフト化された報道のリスクを顕在化

# 既往研究サーベイ

## 既往研究でのハード、ソフトの分類方法

分類方法	ハードニュース	ソフトニュース
<b>タイミング</b> タックマン1978, Smith 1979 Jamieson&Compbell 1983	タイムリーなもの	いつ報道してもよいもの
<b>内容</b> 上滝1989, 萩原1992, 稲増2009 Scott&Gobetz1992, 川端1998,	政治・経済・社会	文化・スポーツ 気象など
<b>報道形態</b> 萩原1999	映像や音声の構成、スタジオの言動の発言率、テロップで分類	

# 本研究におけるソフト度の定義

以下の3つの条件を満たす報道形態をソフト度0と定義し  
効果に応じてソフト度を加算する

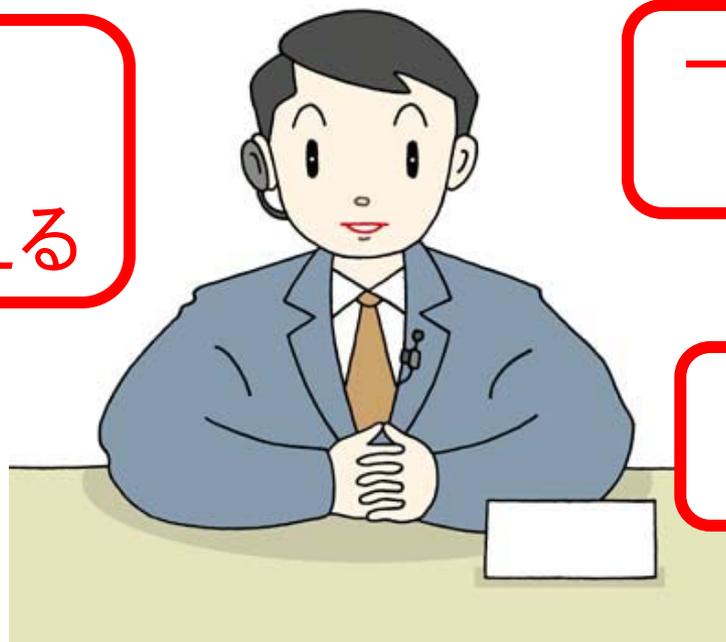
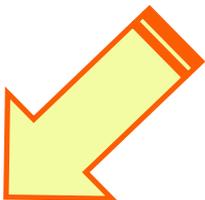
**専門職**  
(アナウンサーなど)  
がニュースを伝える

一人がニュースを  
伝える

演出が一切ない

効果音・テロップなど

演出  
効果



0

ソフト度

# 研究の流れ

---

## ソフト度を評価する指標の決定

「客観的」「定量的」な指標のみを選定



## 番組調査

決定した指標の計測



## ソフト度算出に有効な指標の絞り込み

NHKニュース7との比較



## ソフト度の定量的評価

我々の主観によるソフト度との照合(回帰分析)

# 研究の流れ

## ソフト度を評価する指標の決定

「客観的」「定量的」な指標のみを選定



## 番組調査

決定した指標の計測



## ソフト度算出に有効な指標の絞り込み

NHKニュース7との比較



## ソフト度の定量的評価

我々の主観によるソフト度との照合(回帰分析)

# ソフト度を評価する指標の検討

ブレーンストーミングと、既往研究の知見より以下に着目

- キャラクター
- テロップの送り仮名
- ブリッジ音
- テロップの字体
- 効果音
- 字幕の強調
- BGM
- 路上インタビューの有無
- CG
- セットの背景
- 模型
- セットにあるもの

これらの要素の回数や有無を調査することにより  
ソフト度の定量化が可能？

# プレ調査

- ・設定した指標が「客観的」「定量的」かどうかを検証
- ・必要に応じて指標の再検討を行う

## 対象報道番組

## 調査方法

6月25日(土) 22:00~23:00  
 “情報7Days ニュースキャスター”



メンバー4人が番組調査票を  
 使用して評価

# 指標の再設定

プレ調査から、「客観的」「定量的」に評価可能な指標を設定

- 発話テロップ
- 文字テロップ
- 図表・模型・ボード
- インタビュー
- BGM
- 発話テロップ内強調文字
- 変声

これらの指標の計測を行う

# 研究の流れ

## ソフト度を評価する指標の決定

「客観的」「定量的」な指標のみを選定



## 番組調査

決定した指標の計測



## ソフト度算出に有効な指標の絞り込み

NHKニュース7との比較



## ソフト度の定量化

我々の主観によるソフト度との照合(回帰分析)

## 番組視聴を通じた調査

---

- ・以下の報道番組を対象に、決定した指標を計測
- ・放送局、放送時間帯のバランスを考慮して選定

### 平日(朝)

NHKニュース おはよう日本(NHK)  
みのもんたの朝ズバッ!(TBS)

### 平日(夕方)

FNSスーパーニュース(フジ)  
スーパーJチャンネル(テレ朝)  
NHKニュース7(NHK)

### 平日(夜)

NEWS ZERO(日テレ)  
報道ステーション(テレ朝)

### 休日

情報7days ニュースキャスター(TBS)  
真相報道 バンキシャ!(日テレ)

# 研究の流れ

## ソフト度を評価する指標の決定

「客観的」「定量的」な指標のみを選定



## 番組調査

決定した指標の計測



## ソフト度算出に有効な指標の絞り込み

NHKニュース7との比較



## ソフト度の定量化

我々の主観によるソフト度との照合(回帰分析)

# 指標の絞り込み

NHKニュース7を明らかなハード番組とし、他の報道番組と比較してNHKニュース7の使用頻度が低い指標(偏差値40以下)に絞り込んだ

- 発話テロップ(40)
- BGM(38)
- 図表・模型・ボード(49)
- 変声(44)
- 文字テロップ(70)
- インタビュー(38)
- 発話テロップ内強調(40)



「発話テロップ」「インタビュー」「BGM」「発話テロップ内強調」  
の4つに絞り込み

# 研究の流れ

## ソフト度を評価する指標の決定

「客観的」「定量的」な指標のみを選定



## 番組調査

決定した指標の計測



## ソフト度算出に有効な指標の絞り込み

NHKニュース7との比較



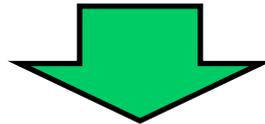
## ソフト度の定量的評価

我々の主観によるソフト度との照合(回帰分析)

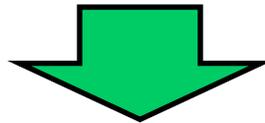
# ソフト度の定量的評価の流れ

---

各番組のソフト度を評価



回帰分析によるモデル構築

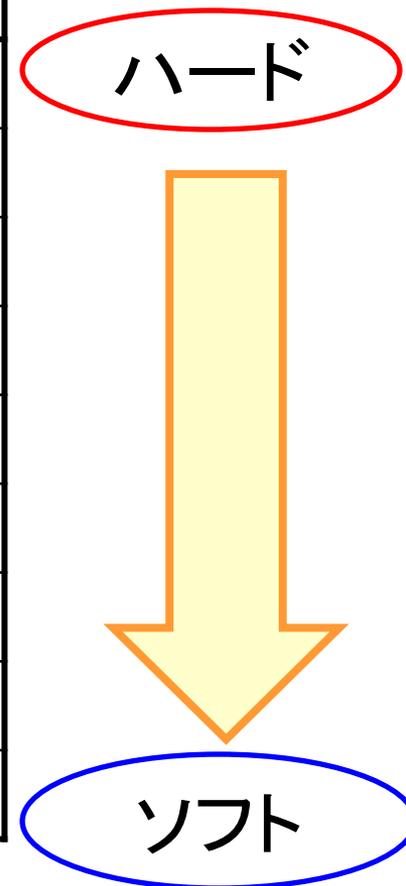


回帰分析の結果と考察

# “定義に基づいた”ソフト度評価

3つの条件(定義)に基づいて、3班メンバーが各報道番組のソフト度[0,100]を評価

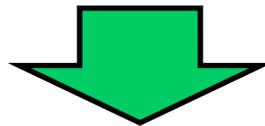
番組名	評価したソフト度
ニュース7	5
おはよう日本	10
報道ステーション	35
FNSスーパーニュース	40
真相報道バンキシャ!	45
NEWS ZERO	50
スーパーJチャンネル	55
みのもんたの朝ズバッ!	80
ニュースキャスター	90



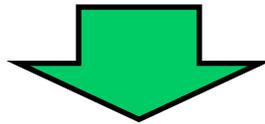
# ソフト度の定量的評価の流れ

---

各番組のソフト度を評価

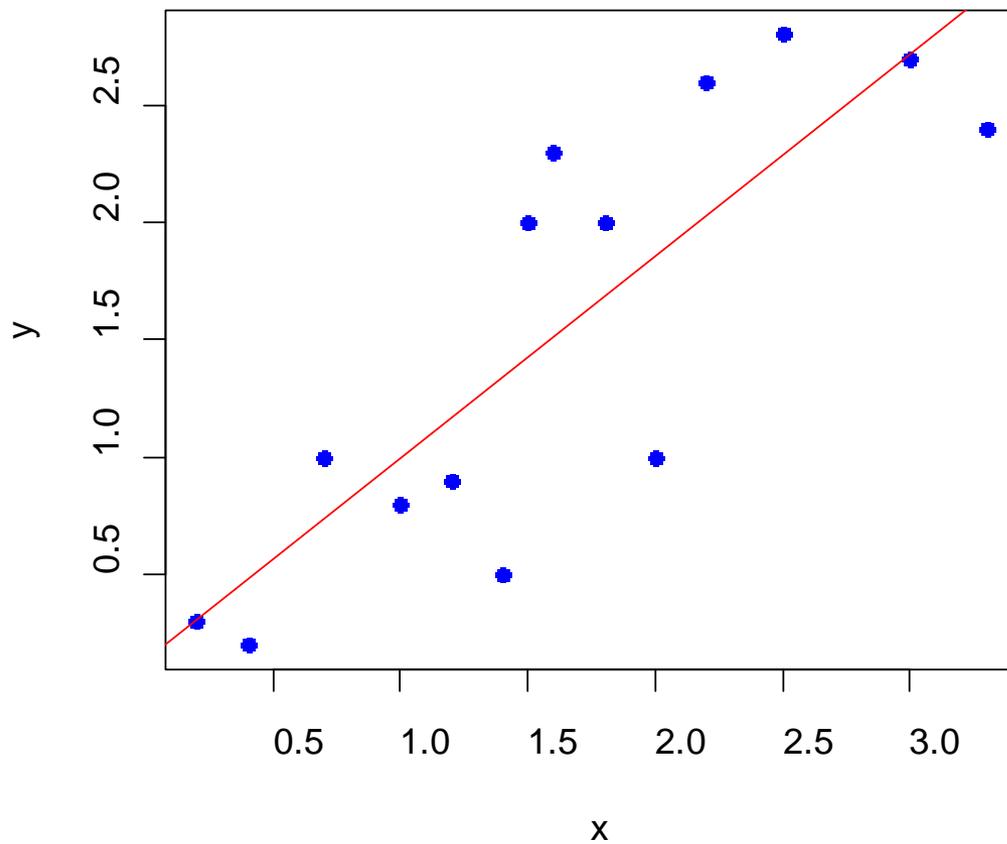


回帰分析によるモデル構築



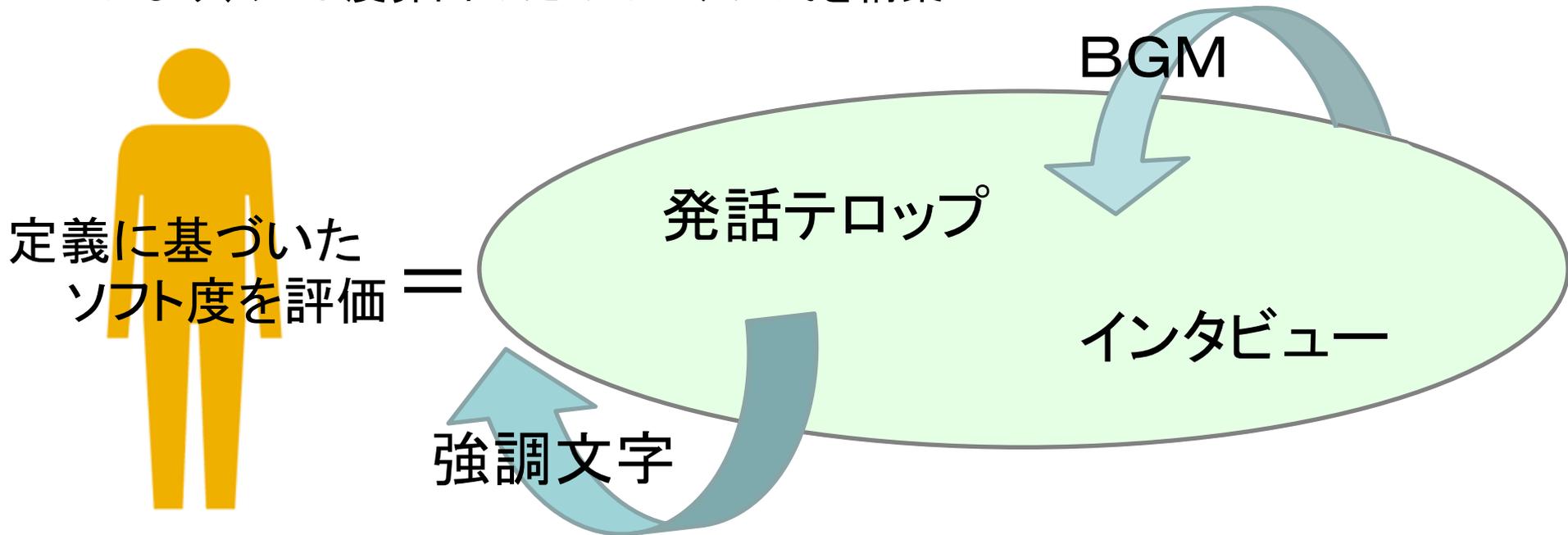
回帰分析の結果と考察

# 回帰分析



# 回帰分析によるモデル式構築

絞り込んだ4つの指標を用いて、ステップワイズ法を用いた回帰分析により、ソフト度算出のためのモデル式を構築



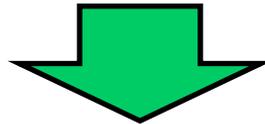
どの要素の組み合わせが一番当てはまりがよいか

➡ 回帰分析(ステップワイズ法)

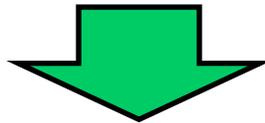
# ソフト度の定量的評価の流れ

---

各番組のソフト度を評価



回帰分析によるモデル構築



回帰分析の結果と考察

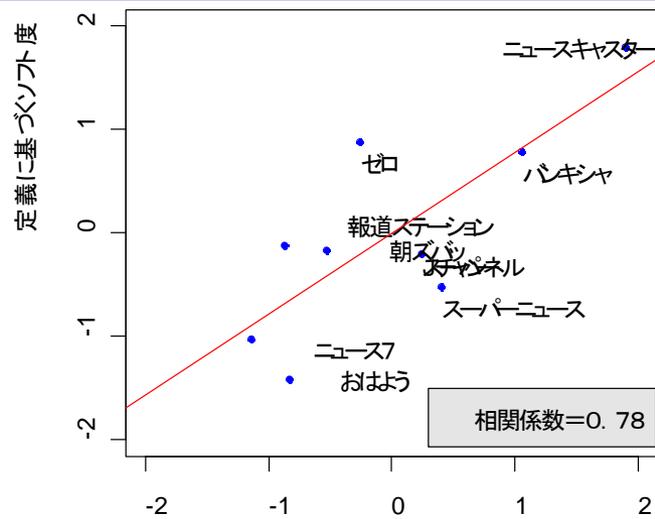
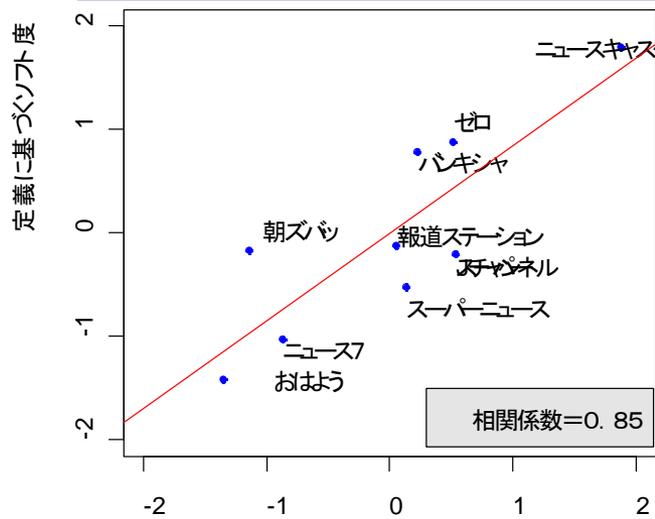
# 回帰分析(ステップワイズ法)の結果

$$\text{ソフト度} = \text{誤差} + 0.847 \times \text{発話テロップ}$$

採択された指標	偏相関係数	t値	p値
発話テロップの使用頻度	0.847	4.22	0.003
サンプル数	9		
決定係数 $R^2$	0.718		
自由度調整済決定係数 $R^2$	0.678		

回帰分析(ステップワイズ法)により、  
発話テロップのみが採択された

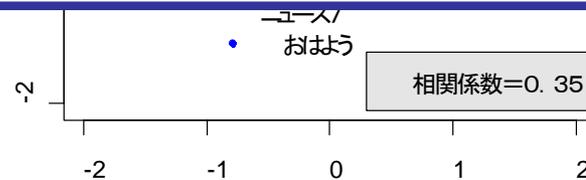
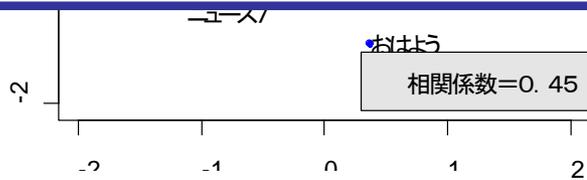
# 4つの指標と主観的なソフト度の関係



発話テロップ



発話テロップにのみ着目することで  
簡便にソフト度を算出できる可能性



インタビュー

強調文字

# ソフト度の定量的評価の流れ

---

各番組のソフト度を評価



回帰分析によるモデル構築



回帰分析の結果と考察



異なる評価基準によるソフト度を用いた場合の考察

# 異なる評価基準によるソフト度の必要性

---

我々が直感的に感じるソフト度には  
“定義”のような明確な基準はない



感覚的に評価したソフト度と  
「発話テロップ」との関係を比較



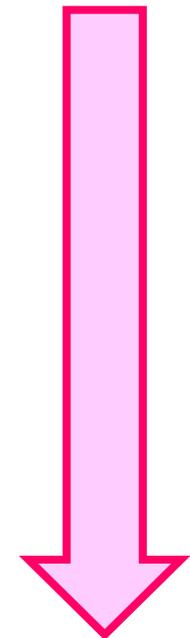
「発話テロップ」の汎用性を検証

# “感覚的”にソフト度を評価

3班メンバーが感覚的に各報道番組のソフト度[0,100]を評価

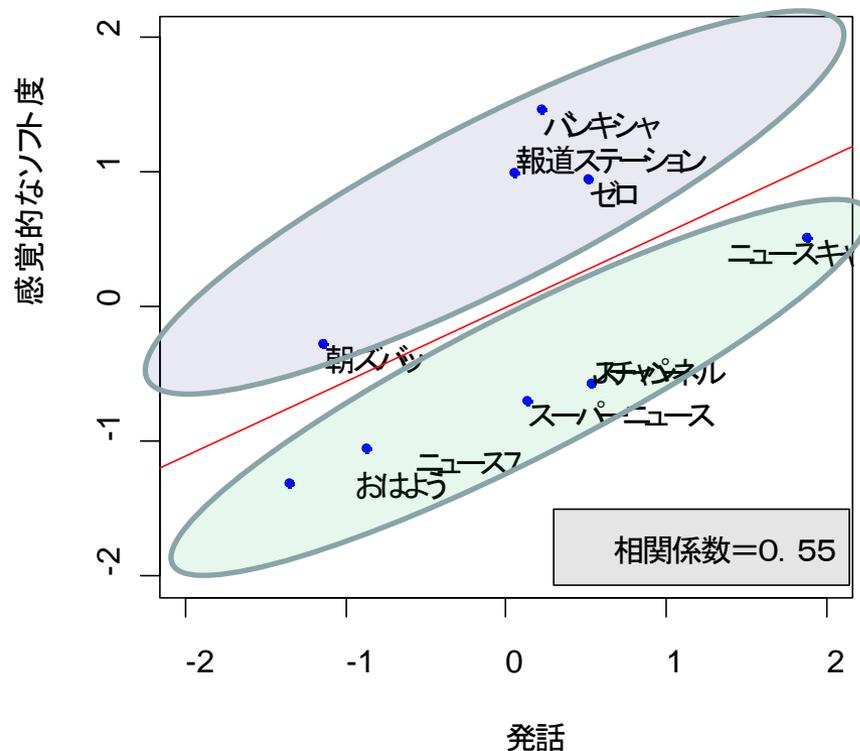
番組名	感覚的なソフト度
ニュース7	5
おはよう日本	10
FNSスーパーニュース	40
スーパーJチャンネル	50
NEWS ZERO	70
ニュースキャスター	75
真相報道バンキシャ!	80
報道ステーション	85
みのもんたの朝ズバッ!	95

ハード



ソフト

# 「発話テロップ」と感覚的なソフト度の関係

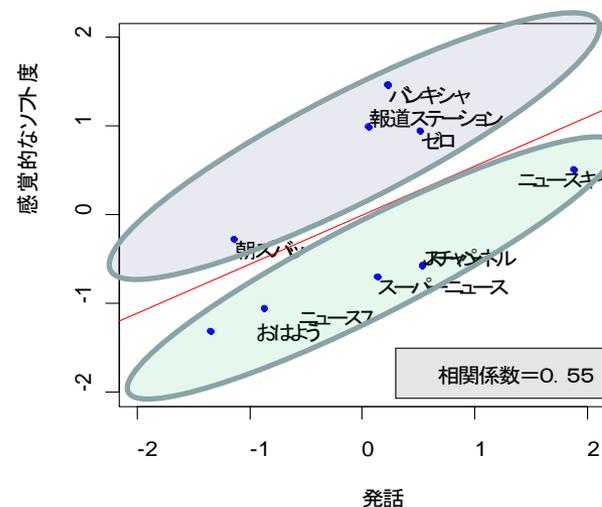


回帰線の上下でニュース番組が2つに分類される

「発話テロップ」“のみ”で各番組のソフト度を評価することには課題もある  
 (例) キャスターやコメンテーターのキャラクターが影響している可能性

# 本研究の今後の課題

- 調査した報道番組数の少なさ  
サンプル数を増やし、多様な番組への対応
- 主観によるソフト度  
我々の主観で報道番組のソフト度を決定したが、多くの人の主観によるソフト度も考慮すべき(アンケート調査)
- その他の指標の検討  
例) 芸能人やタレント、キャスターの性格をどのように定量化するか



## まとめ

報道形態(演出方法)についての定量的検討を行った

- 演出方法に関する指標の検討
- 番組調査から指標を計測
- 重回帰分析によりソフト度の算出

発話テロップにのみ着目



簡便にニュース番組のソフト度を  
算出できる可能性